

July 8, 2008

JAWIC

Seattle News

ウェアハウザー社、新製材工場の稼働とOSB工場の閉鎖。

ウェアハウザー社が2007年初頭にワシントン州ロングビューに建設を開始した最新鋭の製材工場がようやく稼働の運びとなった。まだ試運転の段階であるが、2 - 3 ヶ月以内にはフル稼働体制に入る予定。生産能力は年間約4億5000万BM（約100万m³）と言われており、約230人が雇用される見込み。同社はこの5月に、32年間操業したグリーンマウンテン工場（トゥートゥル市近郊）を閉鎖しており、今後は近隣の社有林からの丸太は輸出用を除きほとんどがこのロングビュー工場に搬入されることになる。

同社は、アルバータ州のドレイトンヴァレーのOSB工場を昨年12月から操業を休止していたが、米国住宅部門の不振のためOSBが供給過剰気味で市況低迷が続いていることから、永久閉鎖を決定。